

鶏

1 改良の取組と成果

(1) 鶏をめぐる情勢と改良の取組

- ・ 鶏改良による能力の向上、飼養・衛生管理技術の改善は、生産性の向上に大きく貢献。

養鶏経営における技術の進展と生産性の向上

	卵用鶏		肉用鶏		鶏改良	飼養管理技術
	日産卵量 (g/羽)	1戸当たり 成鶏めす羽 数(羽/戸)	49日齢時 生体重 (kg/羽)	1戸当たり 出荷羽数 (羽/戸)		
昭和30年						
40年	33.3	26		3,488	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国鶏の輸入自由化 ・ 鶏改良事業の開始 ・ ブロイラー専用種の普及 ・ 凍結精液技術の開発 ・ 在来鶏等の改良の活発化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケージ飼育の普及 ・ ウインドウレス鶏舎の開発 ・ 鶏用ワクチンの普及 ・ ホールイン・ホールアウト方式の導入
50年	40.6	230	1.67	34,621		
60年	48.9	1,037	2.41	92,057		
平成元年	49.6	1,472	2.52	113,956		
10年	51.6	26,957	2.65	151,794		
15年	52.2	31,636	2.64	179,140		

資料: 1戸当たり成鶏めす羽数及び出荷羽数は、畜産統計及び畜産物流通統計。

日産卵量と生体重は、55年以前は生産費調査、60年以降は畜産振興課調べ。

注: 平成10年以降の1戸当たり成鶏めす飼養羽数は、1,000羽未満規模を除外。

- ・ 昭和30～50年代における、鶏改良体制の整備や飼養管理技術の開発・普及により、生産性の向上と規模拡大が大幅に進展

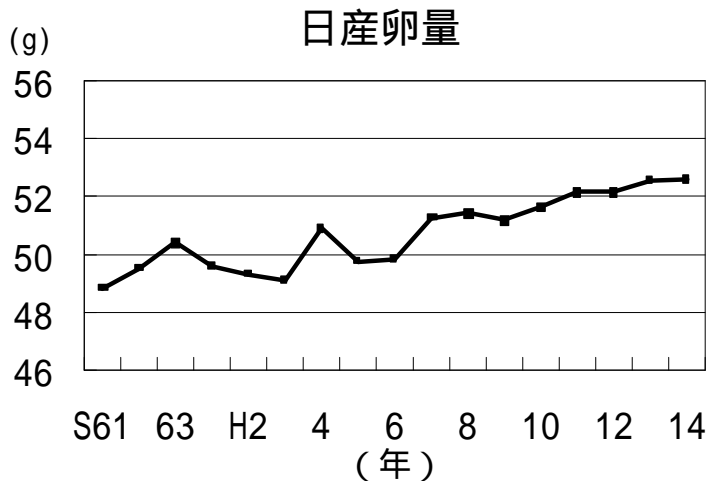


(ウインドウレス鶏舎)

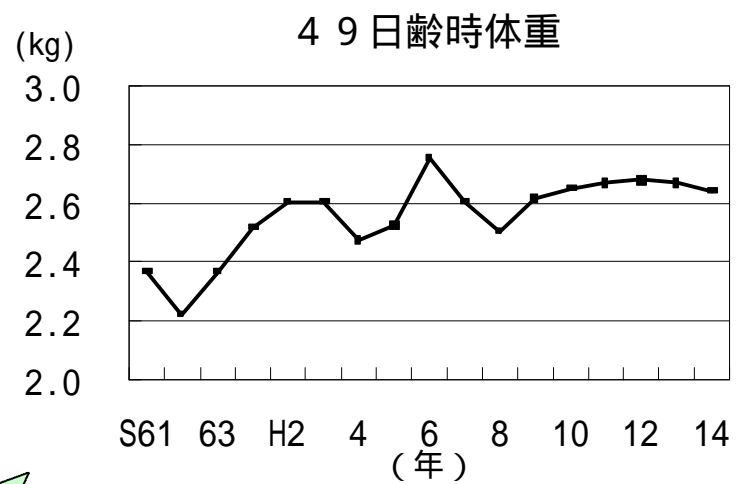
(2) 改良の成果と課題

- ・ 鶏の改良は、飼養管理技術の改善と相まって、養鶏生産のコスト低減、体質強化に貢献。

卵用鶏



ブロイラー



資料：農林水産省生産局畜産部調べ

資料：農林水産省生産局畜産部調べ

産卵能力・産肉能力は着実に向上

在来鶏を利用した、特長ある鶏づくりの取組が進展

〔地鶏肉のJAS規格認定事業者により生産されている銘柄は、現在16（平成16年末：農林水産省生産局畜産部調べ）〕

奥久慈しゃも、筑波地鶏、やさとしゃも、名古屋コーチン、奥美濃古地鶏、丹波黒どり、紀州鶏、播州地どり、鳥取地どりピヨ、おかやま地どり、岡山桃太郎地どり、阿波尾鶏、はかた地どり、熊本コーチン、みやざき地鶏、さつま地鶏

改良増殖をめぐる課題

- ・ 近年、産卵能力・産肉能力の伸びは鈍化。
- ・ 能力の斉一性、ひな供給能力の不足等の問題から、国産鶏の普及は停滞。

- ・ 低コスト生産を図るため、産卵・産肉能力の改良は今後も重要
- ・ 我が国消費・流通ニーズに対応した、卵質・肉質の改良が必要
- ・ 食料の安定供給の観点からも、国産鶏の改良、増殖・普及の推進が必要

2 新たな目標のポイント

総合的な経済性の向上

消費・流通ニーズに対応した卵質・肉質の改良を推進

(1) 改良目標

卵用鶏

卵重量は現状程度としつつ、日産量等の改善を図り総合的な経済性を高める

	産卵率	卵重量	日産卵量	50%産卵日齢	飼料要求率
現在	% 83	g 63	g 52	日 147	2.2
目標 (27年度)	84	63	53	145	2.1



注：産卵率、卵重量、日産卵量及び飼料要求率は、それぞれ鶏群の50%産卵日齢に達した日から1年間における数値

卵質の改良を推進(卵殻強度、卵殻色、ハウユニット、肉斑・血斑等)

注：ハウユニットとは、鶏卵の鮮度を判定する指標として数値化したもの。
(濃厚卵白の高さ、卵重から算出)

ブロイラー

総合的な経済性を高めるとともに、改良及び飼養・衛生管理の改善により育成率の向上に努める

	体重	育成率	飼料要求率
現在	g 2,600 (2,700)	% 97	1.9
目標 (27年度)	2,700	98	1.9



注1：体重は、雄雌の49日齢時の平均体重。体重の()内は、現状における平均的な出荷体重であり、出荷日齢では51日齢程度に相当。

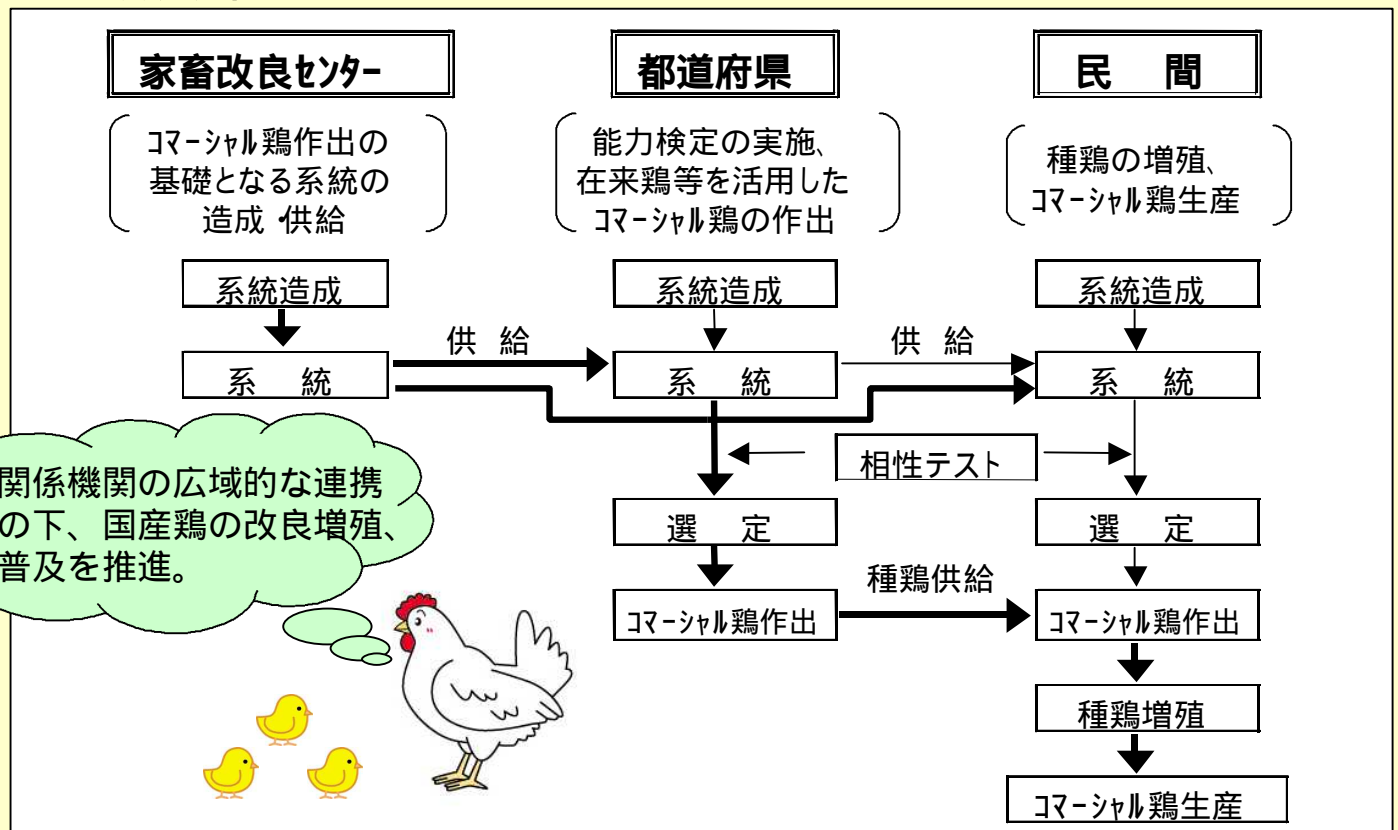
注2：育成率、飼料要求率は、49日齢時における数値。

肉質の改良を推進(腹腔内脂肪量、食味関連形質等)

(2) 改良手法

- ・ 特長ある系統の造成とともに、卵用鶏・肉用鶏の組織的な作出及び普及を促進
- ・ 国((独)家畜改良センター)、都道府県、民間の広域的な連携を強化
- ・ 在来鶏の能力検定の推進
- ・ DNA解析技術を利用した改良手法及び卵質・肉質の評価手法の確立・利用を推進

鶏の改良体制



(3) その他の取組

- ・ 種鶏、ふ卵、鶏卵並びに鶏肉生産段階における適切な飼養及び衛生管理の徹底

(4) 増殖目標

	卵用鶏	肉用鶏
現在(15年度)	179百万羽	105百万羽
目標(27年度)	174百万羽	103百万羽

増殖目標達成に向けて...

- ・ 需給動向に即した生産の推進
- ・ 品質の向上による輸入品との差別化
- ・ 生産性の向上による低コスト生産の推進